

UD講師派遣プログラム

～「UDをもっと知りたい」にお答えします～

■内 容

UDの知識を持つ市民などの講師を学校や地域に派遣し、様々な視点からUDについてのお話をします。

受講無料

■対 象

小学校、中学校、各種団体の勉強会など

■実施期間

年間を通して随時（但し、申込書は実施日の1か月前までには提出してください。）

■申込方法と講座開催までの流れ

- ① 申込書をご提出いただく前に、市にご連絡ください。
希望プログラムの講師の連絡先をお伝えします。
- ↓
- ② 学校(申込者)から講師に連絡をし、日程を調整してください。
- ↓
- ③ 日程が決まった日から1週間以内に「申込書（第2号様式）」を市に提出してください。（FAX・連絡便・Eメール・持参のいずれかで）
※万一、調整がつかなかった場合は、市にご連絡ください。
- ↓
- ④ 市から、承認通知書（第3号様式）が届きます。
- ↓
- ⑤ 決定した日に、講座を開催します。



■その他

※申込みは各学校（各団体）につき1回までです。

※講師料は市が負担します。（ただし、予算の限度額に達した時点で終了となります。）

※プログラムによっては申込者側が準備する物があります。別紙を確認の上、お申し込みください。

※前もって、所在する地域の区振興課または行政センター（地域振興担当）のUD出前講座「ユニバーサルデザインって何？」を受講されると、UDの基本的な考え方が理解できます。

【問合せ】 浜松市 市民部 UD・男女共同参画課

〒430-8652 浜松市中央区元城町 103-2

TEL：053-457-2364 / FAX：053-457-2750

Eメール：ud@city.hamamatsu.shizuoka.jp



≪講師派遣プログラム一覧≫

No.	プログラム名（所要時間） 内 容	講師名または代表者名
1	「見て! さわって! 楽しくUD体験」 (45～90 分程度) 実施可能日：平日 様々な人に配慮されたUD製品を紹介し、実際に見たり触れたりしてUDを体感します。また、「はままつUDかるた」、「UD紙芝居」で遊びながらUDの考え方や知識を深めます。 授業では、障がいのある人や高齢者、力の弱い人や左利きの人など、うまく使えず不自由を感じている人に対して工夫された誰でも使えるUD製品を、実際に触ってみることができます。普段の生活の中で気がついていないUDに、驚きと喜びをもって気づかされます。 「はままつUDかるた」は、バス、駐車場、色の組み合わせなど、多方面にわたりUDのことを題材にしてあるので、遊びながら楽しくUDを学ぶことができ、また「UD紙芝居」を通じてもUDのことを学べます。 <u>※小学生向けのプログラムです。</u> 【内容】※90 分コースの場合 ① UD製品紹介・体験 (45 分) ② はままつUDかるた } (45 分) UD紙芝居の朗読	はままつUD市民 リーダークラブ  UD紙芝居  はままつUDかるた 
2	「朗読をともに楽しむ 心のユニバーサルデザイン」 (90 分程度) 障がいのある人や高齢者との触れ合いにより、心のユニバーサルデザインを育みます。 授業では、グループに分かれて、障がいについて子どもたちが疑問に思うことを直接質問し、それに対し丁寧に答えることで、障がいのある人が普段どんな生活をしているのか、生の声を聴くことができます。その後、アドバイスを受けながら、全員で短編の詩の朗読を行い、相手にうまく伝える方法を学びます。 実際にプログラムを受けた学校からは、障がいのある人が自分たちの体験を明るく話してくれたことから、障がいがあるからと諦めず前向きに生活されていることがわかり良かった、また、障がいのある人が学校を訪問することで、校内のユニバーサルデザインについての必要性が身近に感じられたと好評です。 【内容】 ① 障がい者・高齢者とのコミュニケーション (60 分) ② 障がい者・高齢者と一緒に朗読 (15 分) ③ 朗読やふれあいの感想 (15 分)	かたつむりの会 

No.	プログラム名（所要時間） 内 容	講師名または代表者名
3	「やさしい日本語でコミュニケーション」 （90分程度）実施可能日：平日の13～16時（曜日は相談の上） 当団体で学んでいる外国ルーツの若者や、スタッフとして活動している高校生や大学生と交流しながら、コミュニケーションに必要な「思いやりの気持ち」と「ことばを分かりやすくするコツ」を考えてみよう。 授業では、ワークを通して「やさしい日本語」のコツや工夫、「気持ち」を学びます。 グローバル社会に巣立っていく子供たちの原体験のひとつに、「やさしい日本語」を取り入れてみませんか？ 【内容】90分の場合 ① ガイダンス：「やさしい日本語」とは（45分） ② ワーク：下記一例（45分） ・みんなに分かりやすい自己紹介をしよう ・外国にルーツのある人と一緒にゲームをしよう ・「やさしい日本語」を使って自分たちの学校や町のことを紹介しよう	NPO 法人 フィリピンナガイサ   
4	「ピクトグラムのひみつ」 ～楽しくピクトグラムを学ぼう～ （45分程度）実施可能日：平日 日本はピクトグラム先進国です。現在のようなピクトグラムは1964年の東京オリンピックをきっかけとして世界に広まりました。 オリンピック競技種目のピクトグラムは、この東京オリンピックで初めて作られ、以降大会ごとに制作されるようになりました。 ピクトグラムクイズや規格（JIS、ISO、AIGA）により異なるデザインの見比べなどを通じてピクトグラムを楽しく学びましょう。 わかるかな？ ピクトグラムクイズ  見くらべてみよう  【内容】 ・ピクトグラムの歴史 ・ピクトグラムの決まりごと ・わかるかな？ピクトグラムクイズ ・各国のピクトグラムを見くらべてみよう	UD学習支援ガイド または UD・男女共同参画課 